



寄贈品コーナー展示



宮沢賢治生誕 120 年記念
2017年 『賢治が綴った星たち』
会期: 12月1日(木) ~ 12月25日(日)

1896年に岩手県の花巻で生まれた宮沢賢治は、日本を代表する詩人・童話作家であり、37才という短い生涯の中で、文学史に残る珠玉の作品をいくつも残しました。彼の作品には多くの星・天体が登場します。代表作の一つ『銀河鉄道の夜』はまさに天の川を舞台としていますし、『双子の星』に登場する「星めぐりの歌」は実際の星座たちを歌っています。驚くべきは、彼が当時の最新の天文学の研究成果に通じ、それを作品の中に反映させていることです。また彼独自の世界観も反映され、ただ科学的なだけではなく宇宙の姿を作品中で描いているのです。

宮沢賢治生誕120年に当たる本年、賢治の故郷・花巻市の友好都市として平塚市では「宮沢賢治生誕120年記念事業」を実施しています。平塚市博物館ではその一環として11月から宮沢賢治にまつわる展示を行ってきました。12月は『賢治が綴った星たち』と題し、宮沢賢治の作品に登場する天体を写真で紹介するとともに、それらの科学的な側面を紹介します。



子持ち銀河 M51

[NASA, Hubble Heritage Team, (STScI/AURA), ESA, S. Beckwith (STScI). Additional Processing: Robert Gendler]

全体星というものははじめぼんやりした雲のようなもんだったんです……獵犬座のは渦巻きです。

(『土神と狐』より)